

足立区立扇小学校
校長 池野 正信 様

足立区立扇小学校
開かれた学校づくり協議会
会長 清水 康弘

令和6年度 学校関係者評価

1 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

【学力向上アクションプランについて】

4月に実施される区学力調査の目標通過率が80%を上回り、目標達成することができた。学力向上のため、校長先生をはじめ副校長先生、教員の皆さんが目標に向かって取り組んでいることが伝わった。しかし、正答率を見ると特に国語では昨年度より3%下回っており、算数では昨年度よりわずかな上昇で、高い正答率とは言えない。組織的な学力向上の取組や日々の授業改善に取り組む中で、学力の定着を期待したい。また、家庭での予習や復習が必要になると思うので、家庭との連携を今後さらに深めていってほしい。

【自己肯定感の醸成について】

「自分にはよいところがある」と回答した児童が81.8%で、目標の80%を上回った。一方で、「どうせ自分は」と諦めてしまう児童も一定数いるようなので、全教育活動を通して道徳的指導、人権教育の推進に取組、児童一人一人が安心・安全な学校生活を送ることができるよう引き続き取り組んでほしい。学力も体力も大切ではあるが、「自分のことが好き」「今が楽しい」「幸せを感じる」いった心の満たされ方、満足、充実を自分が実感することが生きていく上で最も大切だと感じた。物や情報が溢れる中、友達や家族と過ごすひとときや時間、空間を大切に噛み締められる子どもたちに育ってほしい。そのためには先生方のご指導が不可欠だと感じた。

【授業力向上について】

「勉強したことが分かる」と回答した児童は89.1%と区の平均を上回っている。学力として定着できるよう、日常的に授業改善に努める教員集団を目指し、人材育成していくとのことなのでお願いしたい。

2 保護者や地域へのメッセージ

行事もPTAと協力しながら学校全体で行われていることが、児童の生き生きした動きに表れており、毎回感動させられる。様々な行事やイベントが開催され、地域の方との交流を大切にされているところが素晴らしい取組である。運動会や音楽会に参加させていただいた。全学年の児童が前向きに取り組んでいる姿は、先生方のご指導の賜物である。

3 その他

- ・学力向上、体力向上を目指して校長先生が率先している姿がとてもよい。
- ・扇小の全教職員が一丸となって児童に寄り添っていることが、「学校に行くのが楽しい」という雰囲気につながっていると思う。
- ・「学校は楽しい」と感じる児童が9割近くいることが扇小の活気につながっていると思った。明るくあいさつをしてくれる児童が多く、学校が安心して生活できる場になっていることを感じる。
- ・自分からあいさつをしてくる児童も多い。遅刻児童に対しても先生方が声をかけてくれたり、話を聞いてくれたりしていると思う。
- ・あいさつ運動に参加させていただき、児童の元気な姿を拝見させていただいた。特に主事さんとじゃんけんをすることで今日一日の元気をもらっているようにも感じた。それとは真逆で家族に付き添われ、いやいや正門をくぐる児童を拝見し、登校しないよりはよいのかと思う反面、どうしたら自分からすすんで登校することができるのだろうと考えさせられた。
- ・学校公開に参加させていただいた際に、先生方の言葉かけに子どもたちがしっかりと反応し、集中して授業に参加している姿が見られた。着席しているときと体育館等での活動（静と動）の取組がしっかりと感じられた。
- ・授業参観では、どのクラスも児童が集中して勉強していた。
- ・先生方が、熱心に授業されており、児童の理解がすすむよう工夫されていると思った。
- ・1年生の国語の授業を拝見させていただき、先生の声の大きさ、前列から後列までの児童がノートに書いているか、できているかを確認していたことが「わかった、できた」の証で児童の学力向上につながると感じた。
- ・上手にクロームブックも利用しながら学習している学年もあり、今の児童の学習にはいいと思った。自分の意見を言えない児童が多いので、意見を交流し合うような授業があってもいいと思った。
- ・子どもたちもそれなりに授業を受けていると感じた。ただし、教室の移動時や休み時間、キッズぱれっと等授業外では、羽目を外している児童も目立つ。
- ・廊下ですれ違くと元気にあいさつをしてくれる。異年齢でも仲良く関わっている姿や、休み時間に元気に教室から出てくる様子があり、学校生活が充実していることが感じられた。
- ・先生の服装一つをとっても音楽会になりきっての服装であったり、児童の服装にも心配りがあり素晴らしい取組。運動会では、応援団、各学年のダンス等が素晴らしかった。
- ・書き初め展を拝見させていただいた。硬筆、筆それぞれ素晴らしく硬筆は全体にレベルが高く感じた。毛筆は、習っている人とそうでない人で差があるように感じた。
- ・学校の花壇に寄せ植えの花が元気よく咲いていたのに目が留まった。なお、大根が寒い中頑張って成長していることに驚き、なんでも手をかけたものは元気よく成長していると痛感した。かけ過ぎもよくないが…。きっと扇小の皆さんは先生方の温かい教えのもと将来素晴らしい人となることと思います。感謝申し上げます。
- ・校舎内はお掃除が行き届いていると感じた。階段にかけ算の配慮があり感動した。
- ・子どもたちの学力以外にも、保護者の育成、自尊心の育み等、総じて「生きる力」を養うためには先生方のご指導が不可欠。多くの業務を求められる時代になっていますが、どうか先生方もご自身を大切に、今を楽しむことを大切にさせていただきたいと思う。
- ・令和6年度の開かれた学校づくり協議会は、給食の試食や授業参観をさせていただきありがとうございました。給食試食会ではとてもおいしい給食に感動した。児童にとっても楽しみの一つなんだろうと思った。